

食品・飲料におけるインターネット 通販利用実態調査

結果報告書

実施期間：2005年9月28日～10月18日

調査概要

1. 調査目的

一般消費者市場において、特に食品・飲料と中心とするインターネット通信販売の利用実態や意識に関する資料を収集すること。

2. 調査手法

WEBアンケートシステム デジサーチ (<http://digi-search.com>)

3. 調査対象

デジサーチ会員

* デジサーチ会員全員に対して、情報工房株式会社内に設置しているデジサーチ運営事務局より調査協力依頼のアンケート画面のURLを記載したメールを発信、デジサーチのアンケート回答画面に誘導し記入を促した。

4. 有効回答

下段:%	合計	10代	20~24歳	25~29歳	30~34歳	35~39歳	40~44歳	45~49歳	50~54歳	55~59歳	60~64歳	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80歳以上
全体	483	-	7	28	72	113	104	80	33	24	8	10	2	2	-
	100	-	1.4	5.8	14.9	23.4	21.5	16.6	6.8	5	1.7	2.1	0.4	0.4	-
男性	250	-	1	11	28	46	61	46	23	16	6	8	2	2	-
	100	-	0.4	4.4	11.2	18.4	24.4	18.4	9.2	6.4	2.4	3.2	0.8	0.8	-
女性	233	-	6	17	44	67	43	34	10	8	2	2	-	-	-
	100	-	2.6	7.3	18.9	28.8	18.5	14.6	4.3	3.4	0.9	0.9	-	-	-

5. 調査期間

2005年9月28日(水)～10月18日(火)

6. 調査機関

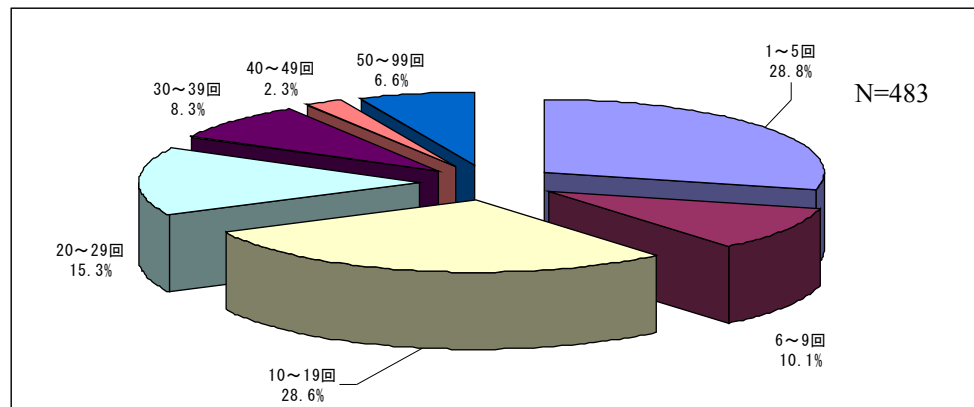
情報工房株式会社、

過去1年間のインターネット通販利用回数>>>>20回未満が約7割

Q1. あなたは過去1年間で、インターネット通販を何回程度利用しましたか。

過去1年でのインターネット利用回数では、1回から5回と10回から19回がそれぞれ約3割、20回未満で約7割に達している。

平均回数：15.4回

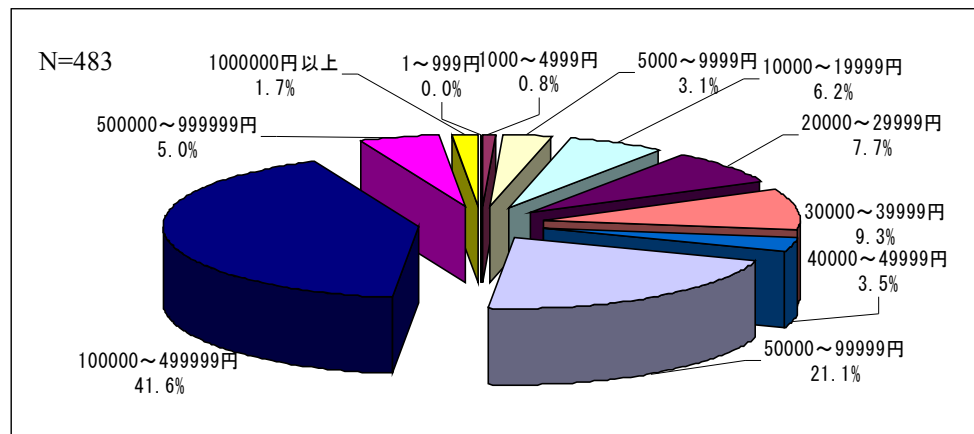


過去1年間のインターネット通販での利用総額>>>>5万円以上20万円未満が6割強

Q2. あなたは過去1年間で、インターネット通販でトータル何円程度買い物しましたか。

過去1年のインターネット通販利用金額は、10万円から50万円未満が約4割、5万円から10万円未満が約2割、5万円から20万円未満の間に6割強が集中している。

平均金額：13,9310円

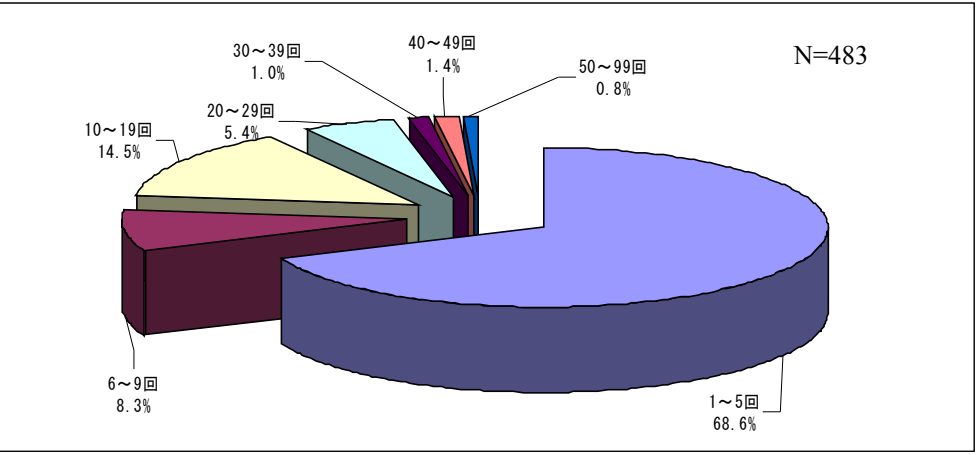


過去1年間でインターネット通販で食品・飲料を買った回数>>>>5回までに7割が集中

Q3. そのうち食料品や飲料をインターネット通販で買ったのは何回程度ですか。

過去1年での食品、飲料でのインターネット利用回数では、1回から5回に約7割が集中、9割オーバーの人が利用回数20回未満と回答している。

平均回数：6.83回

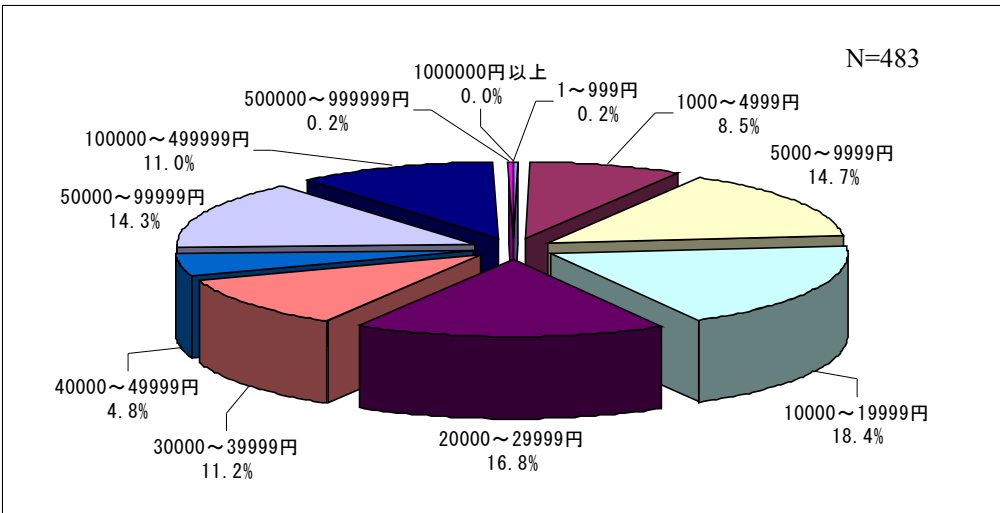


過去1年間でインターネット通販で食品・飲料利用総額>>>>約35%が1万円以上5万円未満に集中

Q4. それではそのうちインターネット通販で食料品や飲料をトータル何円程度買い物しましたか。

過去1年のインターネット通販利用のうち、食品、飲用の限定した利用金額は、1万円以上2万円未満が約2割、2万円以上3万円未満が17%、合わせて約35%が1万円以上3万円未満の間に集中している。

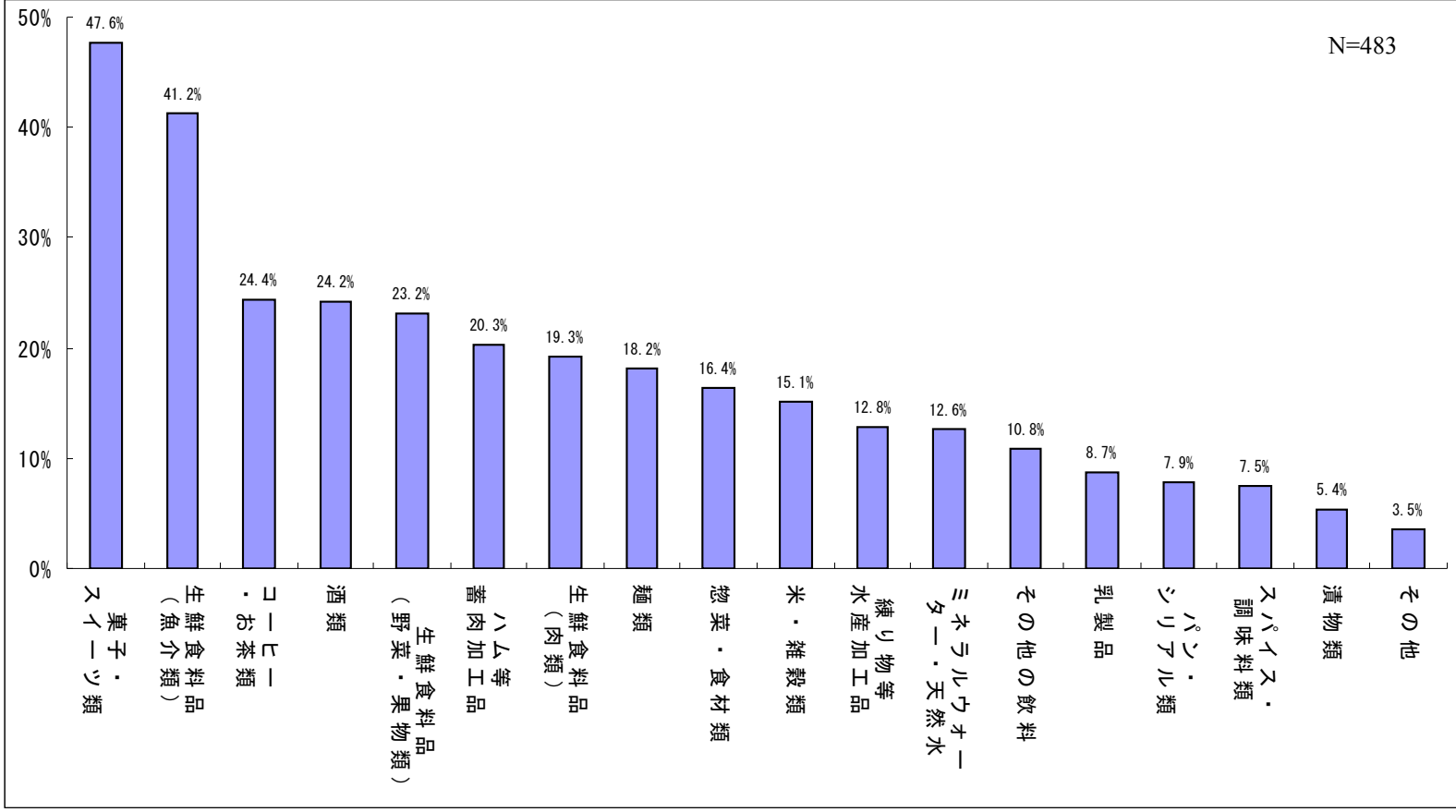
平均金額：39,560円



インターネット通販で買った食品・飲料の種類>>>>「菓子・スイーツ」、「生鮮魚介類」が突出

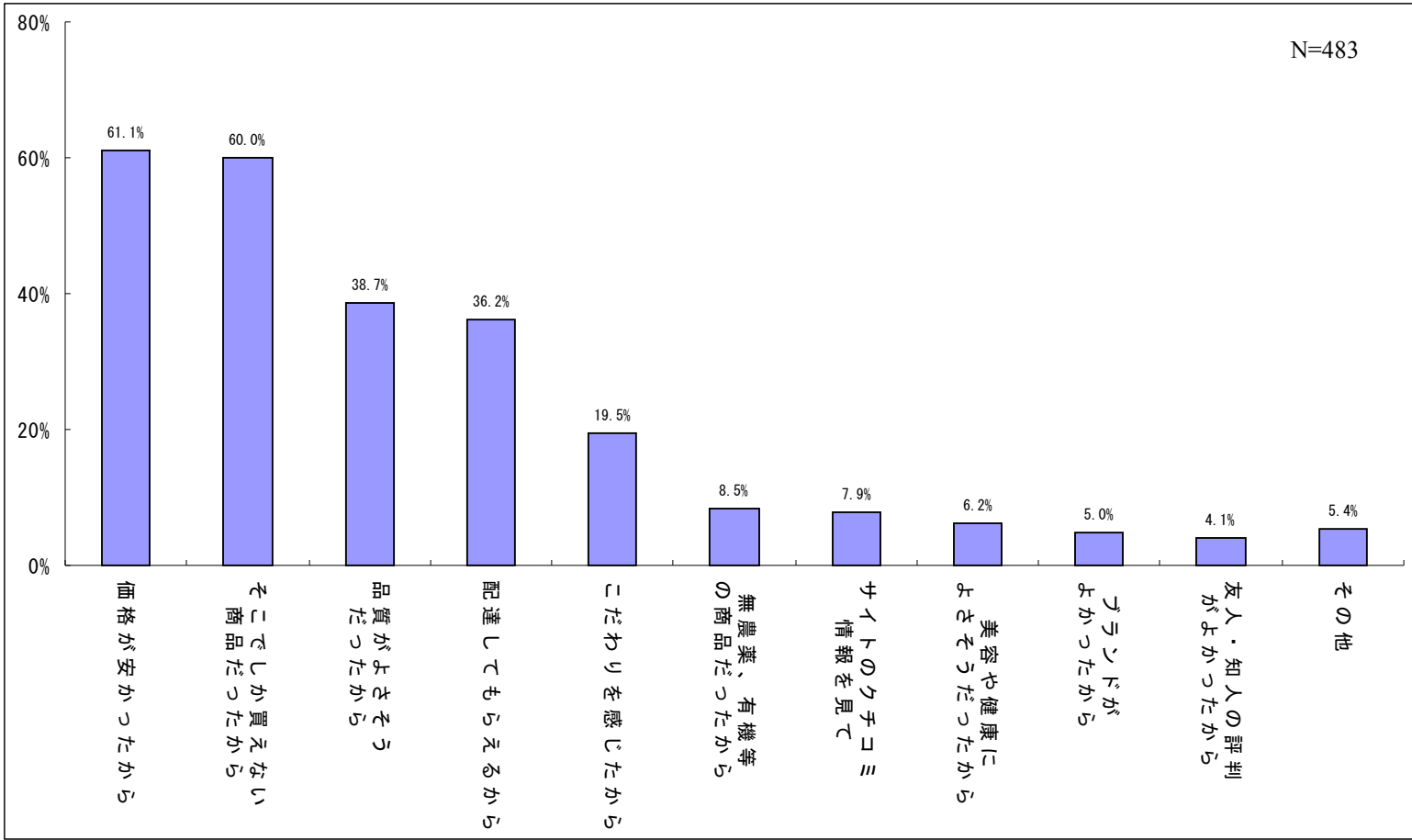
Q5. あなたは、最近1年間でインターネット通販で食品や飲料を買われたということですが、どのようなものを買いましたか。いくつでも選んでください。

最近1年間でインターネット通販で買った食品、飲料では、「菓子・スイーツ類」が、「生鮮食品（魚介類）」がそれぞれ4割オーバーで突出、以下「コーヒー・お茶類」や「酒類」などが2割台で続いている。



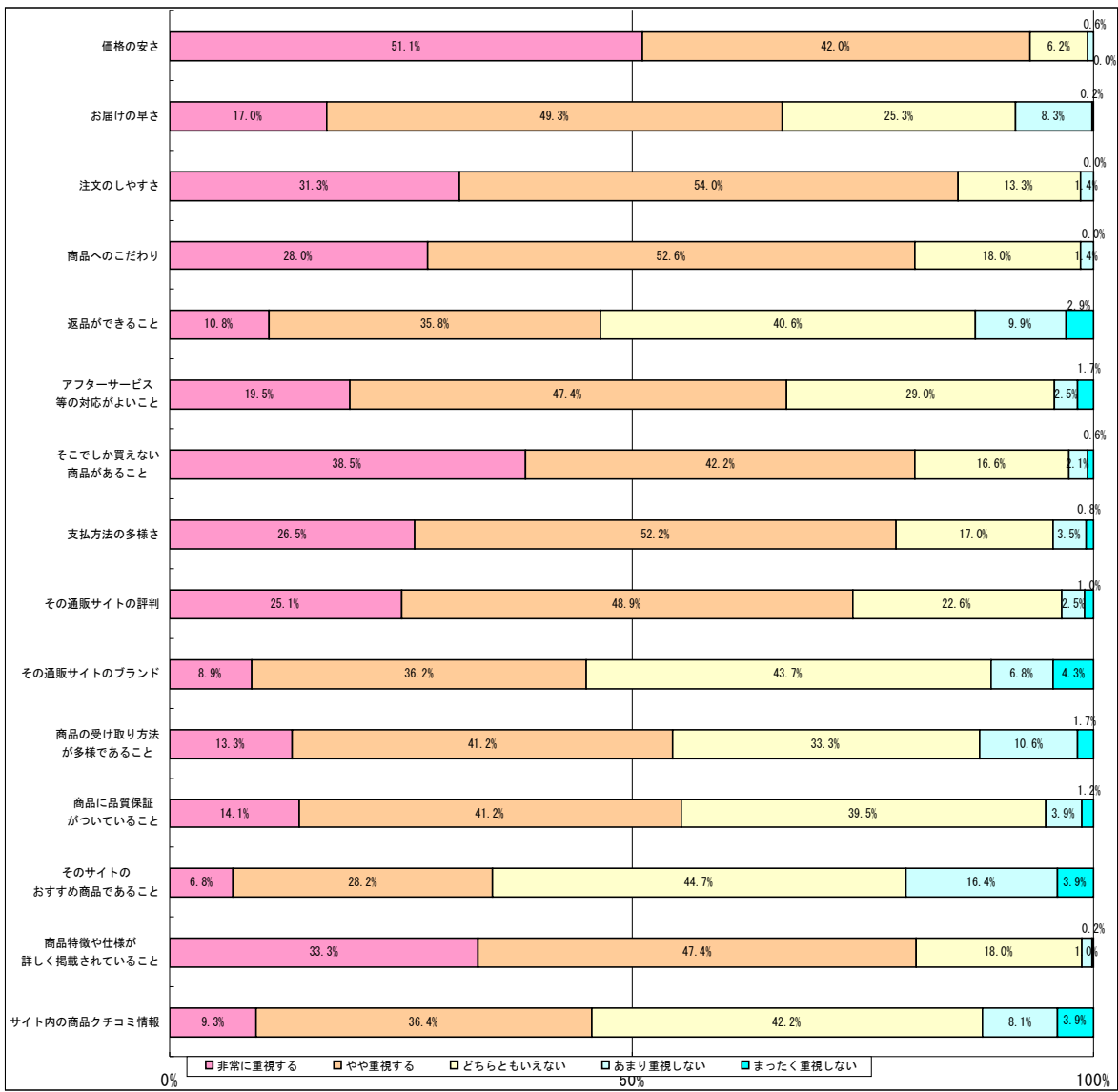
Q6. あなたはなぜその食品・飲料をインターネット通販で買いましたか。当てはまるものをいくつでも選んでください

当該食品、飲料をインターネット通販で購入した理由では、「価格が安い」「そこでしか買えない商品」の2項目がいずれも約6割と突出、2位以下の「品質がよさそう」、「配達してもらえる」を大きく上回る結果となった。



Q7. 食品に限らず、インターネット通販サイトを選ぶに当って、あなたはどのような点を重視しますか。それぞれについて、当てはまるものをひとつずつ選んでください。

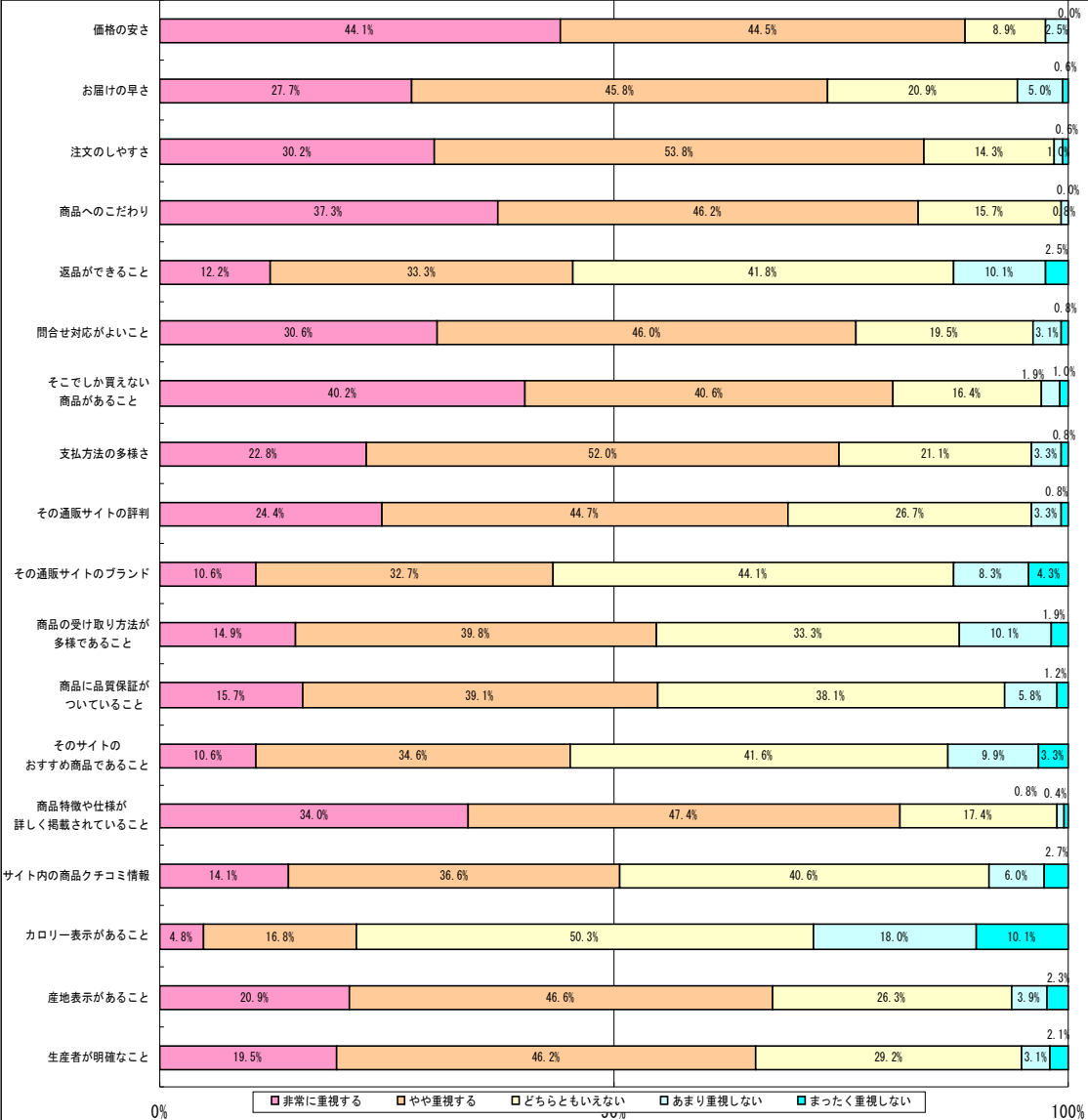
インターネット通販サイト選択の際に重視することでは、「価格の安さ」、「注文のしやすさ」、「そこでしか買えない商品がある」、「商品使用や特徴が詳しく説明されている」などの項目での重視度が高く、サイトのブランドやサイトのおすすめについては、これらに比べて重視度が低くなっている。



N=483

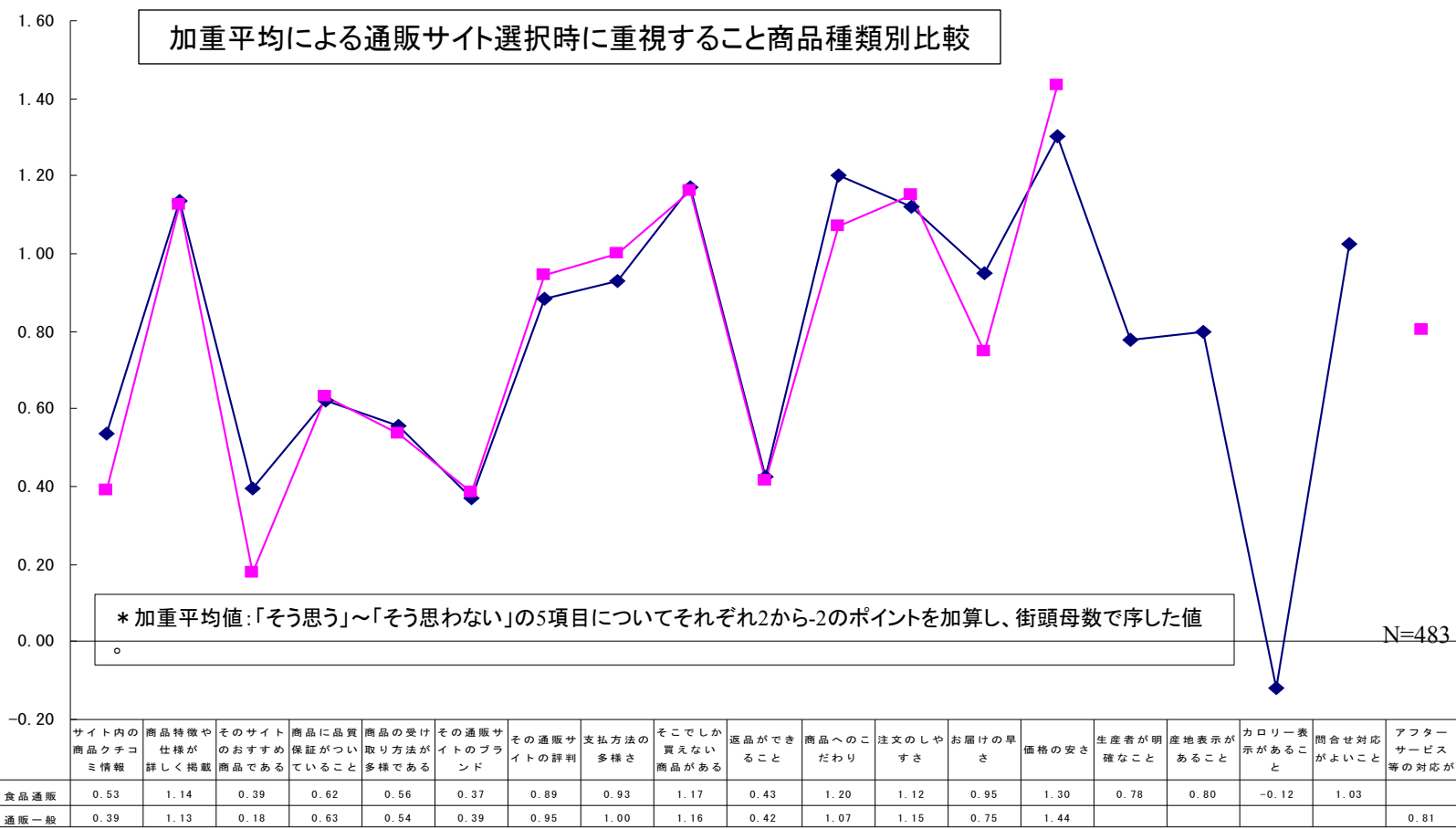
Q9. それでは、食品を買うために、インターネット通販サイトを選ぶとすると、あなたはどのような点を重視しますか。それぞれについて、当てはまるものをひとつずつ選んでください。

食品インターネット通販サイト選択の際に重視することでは、「価格の安さ」、「注文のしやすさ」、「商品へのこだわり」、「そこでしか買えない商品がある」、「商品使用や特徴が詳しく説明されている」などの項目での重視度が高いが、一方カロリー表示については、これらに比べて重視度が低い。



N=483

インターネット通販サイト選択の際に重視することを一般商品と食品で比較すると、両者は概ね近似したラインを描くが、「サイト内のクチコミ」、「サイトのおすすめ商品」や「商品へのこだわり」、「お届けの速さ」では食品が、「価格の安さ」や「評判」、「支払方法の多様さ」では一般商品が、それぞれ重視度が高くなっている。

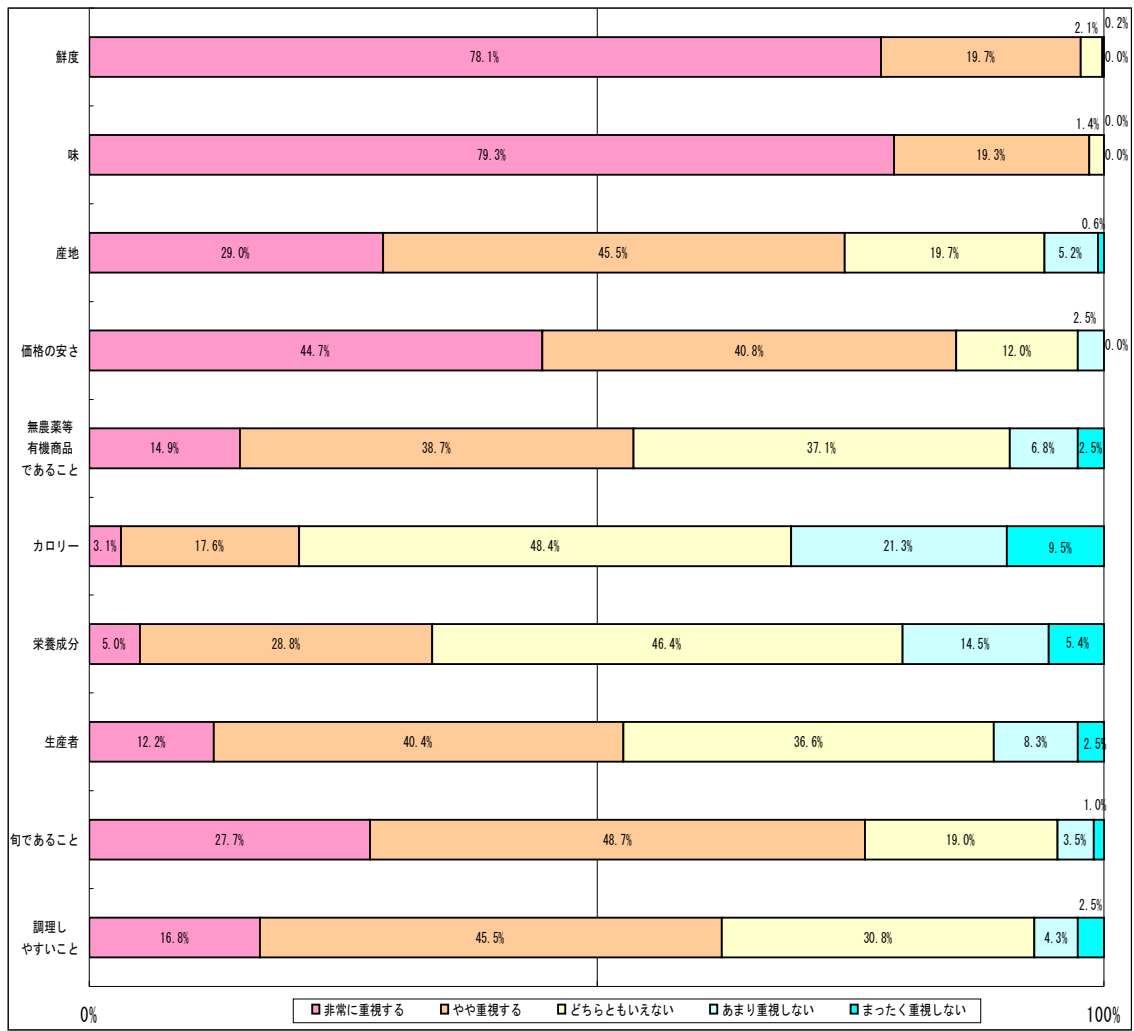


生鮮食品をインターネット通販で買う際に重視すること>>>>「鮮度」と「味」がほぼ100%

Q11. あなたは生鮮食料品をインターネット通販で買うとしたら、商品を選ぶ際に次の項目についてどの程度重視しますか。当てはまるものをそれぞれひとつずつ選んでください。

生鮮食品をインターネット通販で買う場合に重視する点では、「鮮度」と「味」がそれぞれほぼ100%に近い人が重視する（非常に重視＋やや重視）と回答、「価格の安さ」を大きく上回った。一方、「カロリー」や「栄養成分」については、いずれも2割から3割程度の方が重視する（同）と回答、鮮度や味に比較すると、大きく差が開いている。

N=483

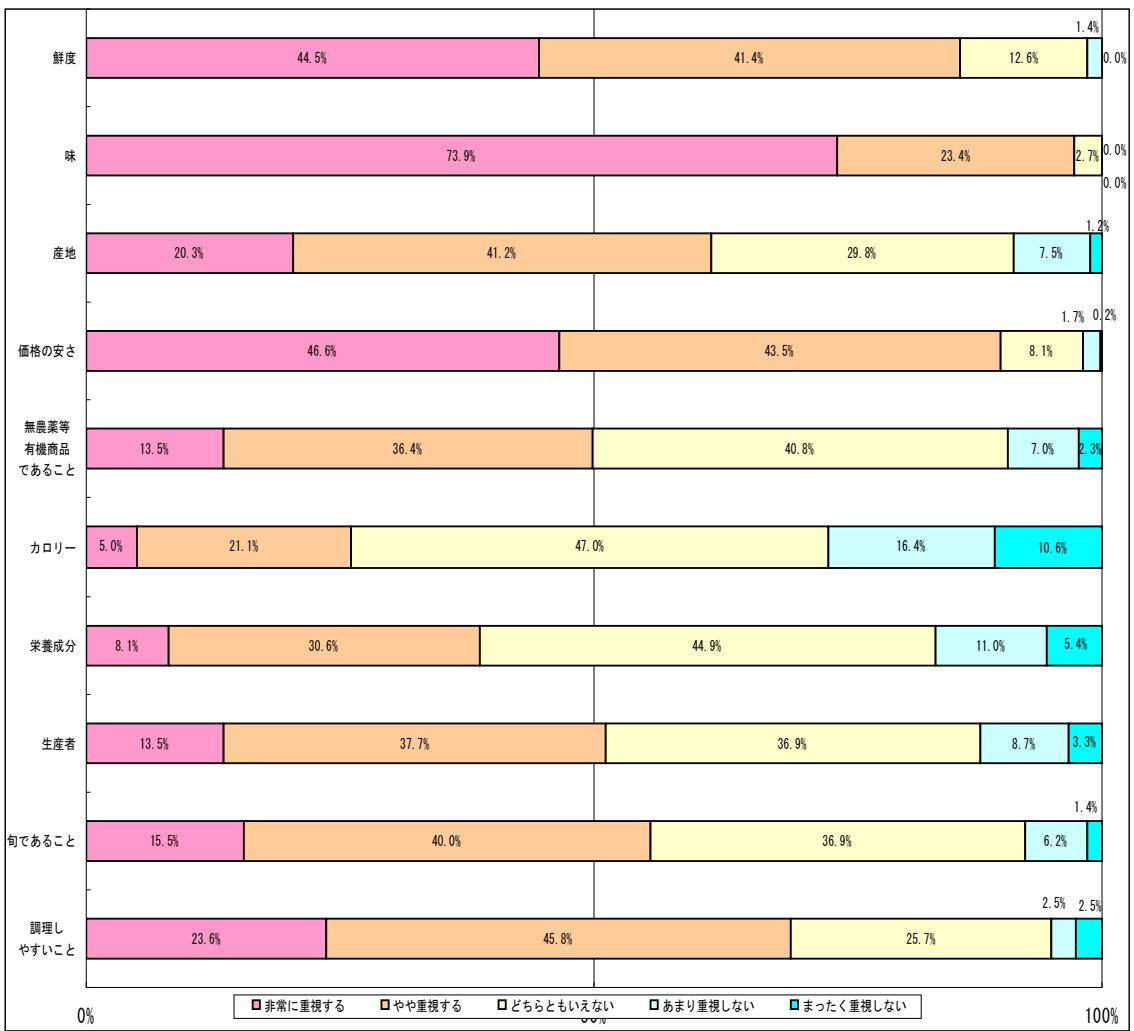


加工食品をインターネット通販で買う際に重視すること>>>>「味」と「価格」が高スコア

Q12. あなたは加工食料品をインターネット通販で買うとしたら、商品を選ぶ際に次の項目についてどの程度重視しますか。当てはまるものをそれぞれひとつずつ選んでください。

加工食品をインターネット通販で買う場合に重視する点では、「味」と「価格の安さ」の重視度が高く、「鮮度」がこれに続く。また、「調理のしやすさ」や「産地」についても6割から7割（非常に重視+やや重視）の人が重視すると回答している。一方、生鮮食品と同じく「カロリー」や「栄養成分」については、いずれも「味」や「価格の安さ」に比較して重視度が低くなっている。

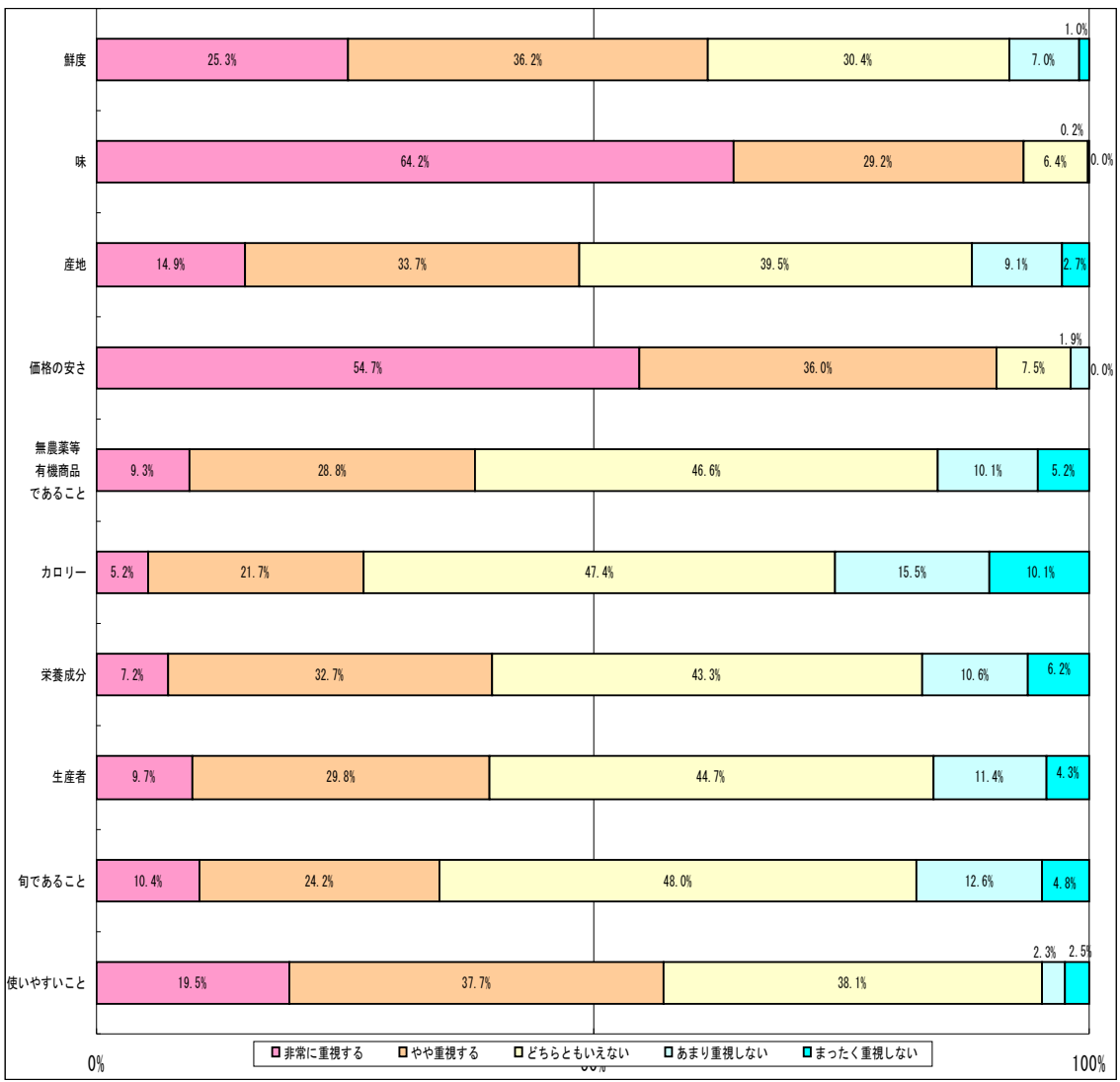
N=483



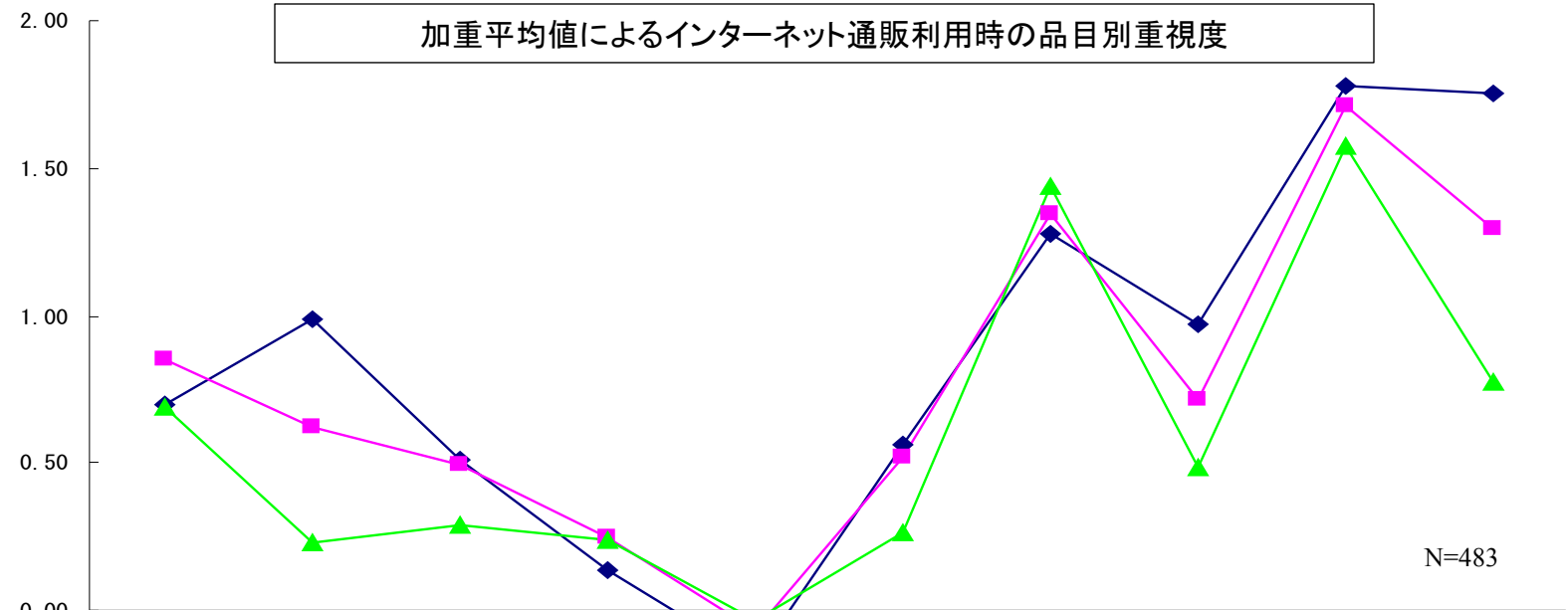
Q13. あなたは飲料をインターネット通販で買うとしたら、商品を選ぶ際に次の項目についてどの程度重視しますか。当てはまるものをそれぞれひとつずつ選んでください。

飲料をインターネット通販で買う場合に重視する点では、「味」と「価格の安さ」の重視度が高く、「鮮度」や「使いやすさ」がこれに続く。一方、生鮮食品と同じく「カロリー」や「栄養成分」、「生産者」、「旬であること」については、いずれも「味」や「価格の安さ」に比較して重視度が低い。また、全体に「生鮮食品」や「加工食品」に比較してスコアが低くなっている点も特徴的である

N=483



食品・飲料をインターネット通販で購入する際に重視する点を商品種類別に見ると、加工食品と飲料が近似したラインを描くが、生鮮食品ではやや異なった傾向が見られる。「味」や「価格」では各商品とも高スコアだが、特に生鮮食品では、「産地」「鮮度」に対する重視度が極めて高く、「旬」であることについても他の商品種類と比べてスコアが高くなっている。



* 加重平均値:「非常に重視する」~「まったく重視しない」の5項目についてそれぞれ2から-2のポイントを加算し、街頭母数で序した値。

	調理しやすい(使いやすい)こと	旬であること	生産者	栄養成分	カロリー	無農薬等有機商品であること	価格の安さ	産地	味	鮮度
◆ 生鮮品	0.70	0.99	0.52	0.14	-0.17	0.57	1.28	0.97	1.78	1.76
■ 加工食品	0.86	0.62	0.49	0.25	-0.06	0.52	1.35	0.72	1.71	1.29
▲ 飲料	0.69	0.23	0.29	0.24	-0.04	0.27	1.44	0.49	1.57	0.78

